

大網白里市障がい福祉計画に係るヒアリング結果 に基づく計画等への反映について（団体）

No.	団 体 名
1	長生・山武自閉症協会
2	山武郡市精神障害者家族会 のぞみ会
3	山武郡市手をつなぐ親の会
4	山武郡市聴覚障害者協会
5	大網白里市身体障害者福祉会

1 障がいのある方の状況について（地域で自立して生活していくうえで、どのような点が課題であると思いますか。）	
意見等	本計画等における対応
<ul style="list-style-type: none"> ・本人が精神的に不安定になった時に駆けつけてくれる訪問医療システム（本人や家族の求めに応じて訪問、福祉のシステム作り）。 ・医療システムの整備（24時間対応してくださる訪問型システム・アクト他職種チーム）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい者の方が、地域で安心して暮らすことができるよう、地域包括ケアシステムの構築について、検討していきます。 ※計画書 P 9
<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障がいがあるため、同行援護が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉サービスの訪問系サービスである同行援護について、事業所等と連携し、必要な支援を行います。 ※計画書 P 13、14
<ul style="list-style-type: none"> ・買い物や通院等の対策をお願いしたい。 ・一人暮らしで車の運転も出来ないことから買い物や通院、所用等が出かけることが不便である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉サービスの訪問系サービスや地域生活支援事業の移動支援事業等について、事業所等と連携し、必要な支援を行います。 ※計画書 P 13、14、27、28
<ul style="list-style-type: none"> ・自閉症児においては、理解不足がまだまだあると感じる。 また、学校教育終了後の就労の際のハードルが高いと感じる。 ・精神障がい者の就労は厳しく、困難なものがあります。 本人の能力以上に働くことでのストレスから病気が悪化したりもします。 雇用主の十分な理解と配慮がなければ長期に渡っての働く場の確保が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉サービスの日中活動系サービスである就労移行支援等について、事業所等と連携し、障がい者が希望する就労の実現を目指します。 また、地域生活支援事業の理解促進研修・啓発事業を通じ、障がいに対する理解を深めるための啓発活動等の推進を図ります。 ※計画書 P 15～17、P 22、23

1 障がいのある方の状況について（地域で自立して生活していくうえで、どのような点が課題であると思いますか。）	
意見等	本計画等における対応
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で、まだまだ精神障がいのある人への理解が不足していると感じる。 学校教育の中でも正しい知識、病態の事などに取り組んでいただきたい。 ・学校教育の中で病態や対処の仕方などを学んでほしい（教師の学びと生徒の方々にも授業の中でも教えてほしい）。 ・障がい者について、理解や受け入れが不足している（横目で見たり、陰で笑ったりしている）。 ・視覚障がいや麻痺等の場合を想定して、アイマスクを装着したりする等、障がい者の状況を体験し、学校教育の中に取り入れてほしい。 ・相手に身体障がいの部分を見られた場合の反応が悪く、理解不足を感じる（例えば、レジで支払いをする瞬間に、その障がい部位をじっと見られ、凄い者を見たかのような顔をされる）。 ・障がい者への理解不足は、障がい者自らが、自分の状況を積極的に話して理解してもらえるように努力しなければならない（学校教育で障がい者とふれあう機会を増やしてほしい）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援事業の理解促進研修・啓発事業を通じ、障がいに対する理解を深めるための啓発活動等の推進を図ります。 ※計画書 P 2 2、2 3
<ul style="list-style-type: none"> ・見えるラジオ（文字多重放送受信機）の配付を検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援事業の日常生活用具給付等事業（情報・意思疎通支援用具）を通じ、日常生活の便宜や福祉の増進を図ります。 ※計画書 P 2 6
<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車の助成金制度が充実すれば、ますます自立につながると思う（手こぎで市内から茂原のカインズまで買い物に行っている障がい者がいる）。 若い障がい者は、特に自立して生活することに力を入れ、その後押しを行政や地域住民に望む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その他の事業の障がい者自動車運転免許取得・障がい者用自動車改造費助成事業を通じ、社会生活への参加を促進します。 ※計画書 P 3 1、3 2

1 障がいのある方の状況について（地域で自立して生活していくうえで、どのような点が課題であると思いますか。）	
意見等	本計画等における対応
・その他の意見要望など	・他の行政機関、福祉関連団体等が所管または関係する事項や複数の機関が連携しなければ改善できない課題であったり、国や県の制度の変更を要するもの、さらには、財政的な問題についても考慮しなければならないことから、今後、内容を精査のうえ、可能なところから、関係課、関係機関への要請等による対応を図っていきたいと考えます。

2 将来について（将来、どのように暮らしていきたいと思いますか。）	
意見等	本計画等における対応
・地域で自立することが、理想ですが、日々の生活を維持するためには、家族や介護者の助けが必要な場合が多いです。	・障がい福祉サービスや地域生活支援事業を通じて、必要な支援を行います。
・精神障がい者の人々の病態の理解（地域社会での啓発活動の推進）を広げたい。また、そうすることで、就労の場が確保され拡大することを望む（所得保障を図ってほしい）。	・地域生活支援事業の理解促進研修・啓発事業を通じ、障がいに対する理解を深めるための啓発活動等の推進を図ります。 ※計画書 P 2 2、2 3

3 利用しているサービス（日頃、どのようなサービスを利用していますか、また、今のサービスに満足していますか。）	
意見等	本計画等における対応
・その他の意見要望など	・他の行政機関、福祉関連団体等が所管または関係する事項や複数の機関が連携しなければ改善できない課題であったり、国や県の制度の変更を要するもの、さらには、財政的な問題についても考慮しなければならないことから、今後、内容を精査のうえ、可能なところから、関係課、関係機関への要請等による対応を図っていきたいと考えます。

4 今後、利用したいサービス（今後どのようなサービスを利用したいですか。）	
意見等	本計画等における対応
<ul style="list-style-type: none"> ・医療システム 24時間対応してくれる訪問型のアクトのシステムに取り組んでほしい。 困難な状況で病院に行けない場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障がいの方が、地域で安心して暮らすことができるよう、地域包括ケアシステムの構築について、検討していきます。 ※計画書 P 9
<ul style="list-style-type: none"> ・公共住宅（障がい者用） 親亡き後の生活が困難なため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉サービスの居住系サービスについて、事業所等と連携し、必要な支援を行います。 ※計画書 P 17、18
<ul style="list-style-type: none"> ・その他の意見要望など 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の行政機関、福祉関連団体等が所管または関係する事項や複数の機関が連携しなければ改善できない課題であったり、国や県の制度の変更を要するもの、さらには、財政的な問題についても考慮しなければならないことから、今後、内容を精査のうえ、可能なところから、関係課、関係機関への要請等による対応を図っていきたいと考えます。

5 差別をなくしていくために（障がいがあることが理由で差別をされた経験がありますか。また、障がいのあることが理由で差別されているケースを見たり聞いたりしたことがありますか。）
<p>今年度、山武圏域において設置いたしました山武圏域障害者差別解消支援地域協議会において、障害のある方もない方もお互いに人格や個性を尊重し合い、共に生きる社会を実現するために、障害を理由とする差別の解消について、啓発活動を推進していきます。</p>

6 合理的配慮について（身の回りで合理的配慮が必要と感じたことはありますか。）	
意見等	本計画等における対応
・その他の意見要望など	・他の行政機関、福祉関連団体等が所管または関係する事項や複数の機関が連携しなければ改善できない課題であったり、国や県の制度の変更を要するもの、さらには、財政的な問題についても考慮しなければならないことから、今後、内容を精査のうえ、可能なところから、関係課、関係機関への要請等による対応を図っていきたいと考えます。

7 市の事業について（市に対し、特に充実してほしい事業はありますか。）	
意見等	本計画等における対応
・レスパイト等の家族支援サービスを整備して気軽に利用できるようにしてほしい。	・障がい福祉サービスの日中活動系サービスである短期入所（ショートステイ）について、事業所等と連携し、障がい者や障がい者の家族に対し、必要な支援を行います。 ※計画書 P15～17
・公共の障がい者の入れる住居を増やしてほしい。	・障がい福祉サービスの居住系サービスについて、事業所等と連携し、必要な支援を行います。 ※計画書 P17、18
・学校教育の中で正しい知識（病態）を教えてほしい。 ・障がい者の抱える問題点が健常者にわかるパンフレットを作成、配付してほしい。	・地域生活支援事業の理解促進研修・啓発事業を通じ、障がいに対する理解を深めるための啓発活動等の推進を図ります。 ※計画書 P22、23
・成年後見制度の啓発。	地域生活支援事業の成年後見制度利用支援事業を通じ、成年後見制度に関する啓発活動等の推進を図ります。

7 市の事業について（市に対し、特に充実してほしい事業はありますか。）	
意見等	本計画等における対応
<ul style="list-style-type: none"> ・その他の意見要望など 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の行政機関、福祉関連団体等が所管または関係する事項や複数の機関が連携しなければ改善できない課題であったり、国や県の制度の変更を要するもの、さらには、財政的な問題についても考慮しなければならないことから、今後、内容を精査のうえ、可能なところから、関係課、関係機関への要請等による対応を図っていきたいと考えます。